

## 第26回集中教育セミナーにつきまして

2024年2月16日(金)、第57回日本臨床腎移植学会(武田朝美先生主催)の最終日に現地参加で、第26回集中教育セミナーを開催いたしました。コロナ禍が明けて久しぶりに多くの会員が一堂に会した開催でした。当日申し込みをした人も含めて255名の参加があり、234名のアンケート結果の回収・解析ができました(回収率91.7%)。

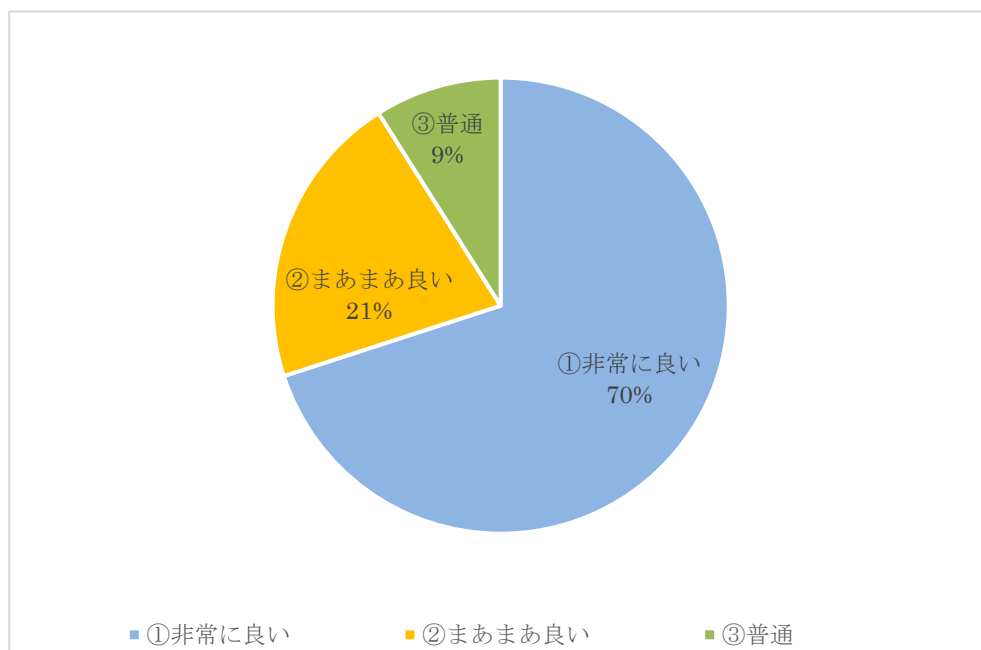
以下の3つのテーマで講演をいただきました。質疑応答も含めまして1コマ45分、それぞれのコマに1単位ずつの受講証をオンラインでダウンロード配布いたしました。

- 「マージナルドナーからの腎提供と腎移植」(カテゴリー2) 生体腎移植  
後藤俊介先生(神戸大学医学部附属病院 腎臓内科)
- 「移植医療推進の行政の取り組み」(カテゴリー3) 献腎移植  
吉川美喜子先生(厚生労働省健康局難病対策課 移植医療対策推進室)
- 「移植医療におけるアカデミア活動」(カテゴリー6) 社会環境・統計・倫理  
江川裕人先生(独立行政法人 労働者健康安全機構 浜松ろうさい病院)

## アンケート結果につきまして

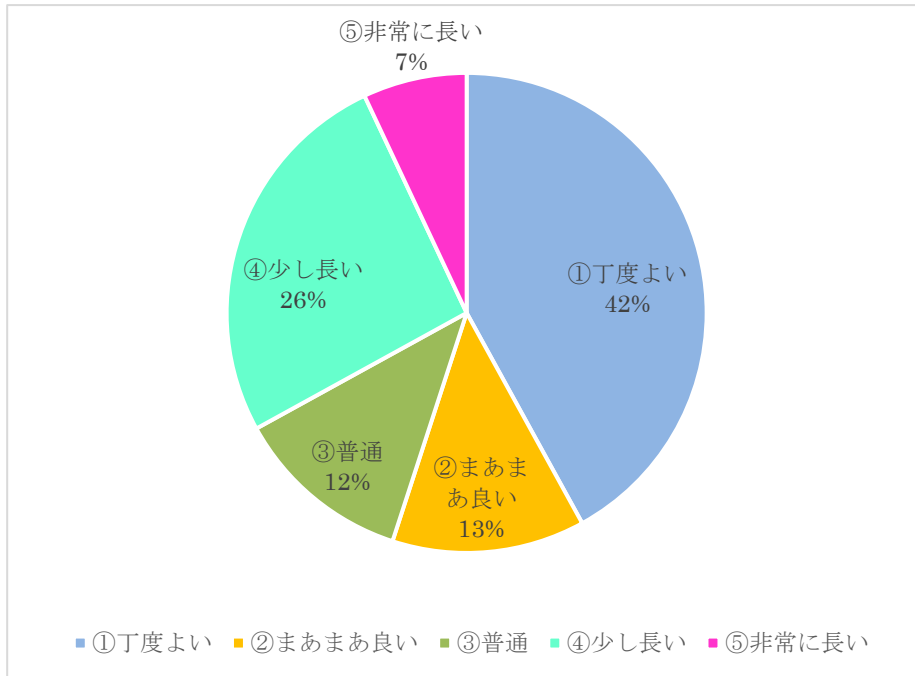
第26回集中セミナーで回収しましたアンケートの解析結果を供覧いたします。

### 1. 内容について



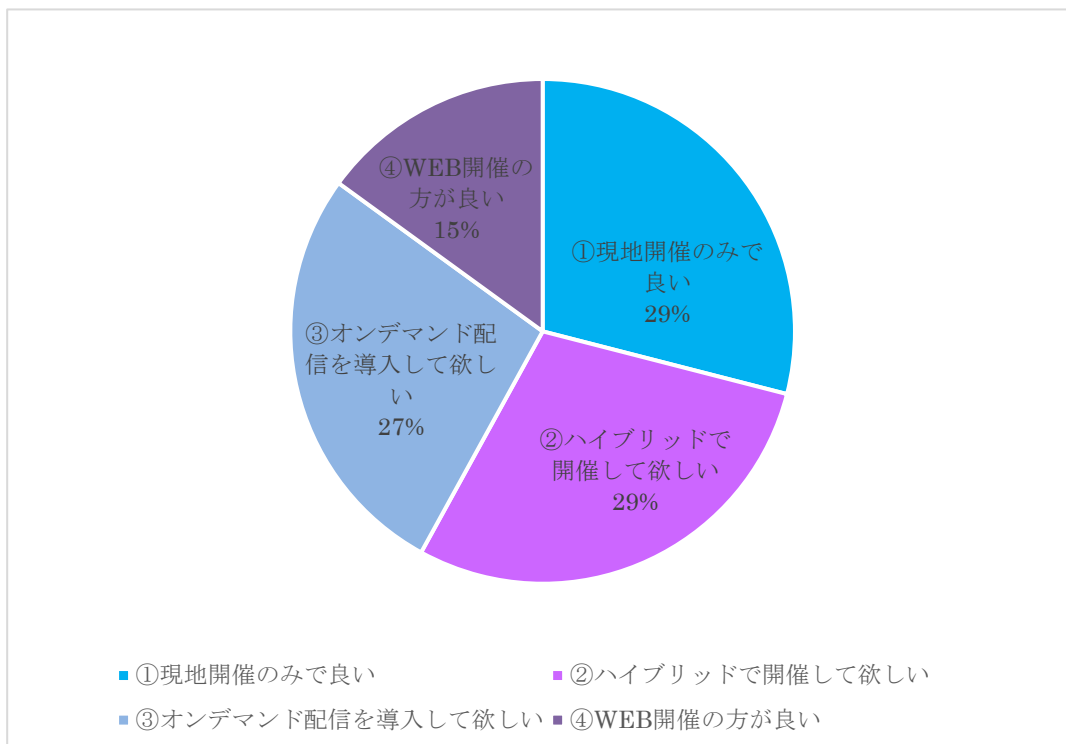
非常に良いと感じた受講者が多く受けられました。

## 2. 講義時間について



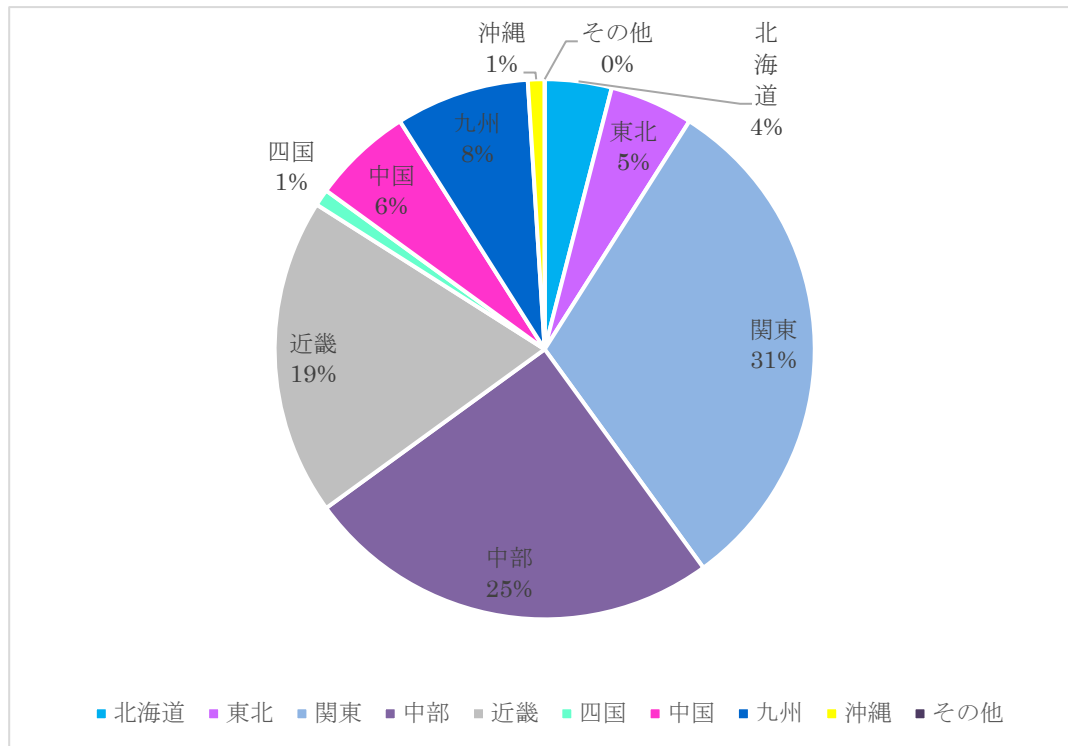
概ね良いと感じた受講者が多く見受けられましたが、今回、少し長いと答えた方が26%ありますが、前回よりも減少しています。

## 3. 開催形式（学会開催時に限定）について



Web開催希望の方が多いですが、下記に総括していますのでご覧ください。

#### 4. 参加者の地域について



腎移植の施設数や腎移植専門医の人数にほぼ比例するような参加者分布と思われます。

#### 5. 今後取り上げて欲しい内容について

自由記載で、多かったものから整理して列記します。

- 異種移植
- 手技に関して
- 臓器提供の流れ 法律
- 術前検査 アフェレシス
- 移植免疫について
- 他分野の移植の基礎手技、知識のアップデート
- HLA 抗体について
- 行政
- 献腎移植ドナー摘出手技、腎移植後外来管理について
- マージナルドナーの臓器保存、献腎移植施設認定基準見直し
- 移植内科医の育成について
- 若手の教育セミナー
- 渡航移植

- 生体ドナーの長期管理、移植医の働き方改革
  - 会場で参加した時は受講証明書を配布して欲しいです。このシステムはスマートホンの入力が煩雑です。
  - 現地で証明書をもらいたい。高齢ベテラン医には酷。
- 上記の意見が見受けられました。

## 6. 今回と今後の開催形式について

通常のアンケート項目には入れていませんが、開催形式について尋ねました。

① Web 開催のほうが良い	36 件
② ハイブリッドで開催してほしい	67 件
③ 現地開催のみが良い	66 件
④ オンデマンド配信を導入してほしい	63 件

以上のような結果でした。開催形式について、①と②を合計すると、103 件の回答が Web 形式を希望されています。3 年のコロナ禍を経験して Web 講演が浸透してきた結果だと思います。多くの方が、ハード面、運用面でも IT 環境に慣れて Web 講演の良さも認識されています。いっぽうで、現地参加することの良さも見直され、現地開催のみが良いと思う人も 66 件あります。また、パソコンやスマホを用いた Web 上での登録、支払い、テキストのダウンロード、アンケート回答、受講証のダウンロード、蓄積単位数のカウントなどの IT リテラシーで苦戦している方もあるようです。

総会が閉会したのち一定期間のオンデマンド配信を希望される方もありますが、担当の学会事務局のシステムも借用せねばならず、コストがかかります。当日の開催形式、オンデマンド配信の可否については、学術教育委員会、専門医認定委員会、臨床腎移植学会事務局が、総会事務局と運営事務局と折衝・調整をしながら決めています。少ないマンパワー、予算では限界もあることをご承知おきください。

昨今は、物価高騰であらゆる出費が増大しています。基幹学会のように年会費、学会参加費、認定講習参加費をあげて、厳格な「専門医制度」になることは時期尚早と思います。13 年前の教育セミナーと認定医制度設立にあたり、「患者さんはもちろんのこと、医療者にも、ときには製薬会社 MR やマスコミ関係者、一般人にも門戸を開放し、『信頼される、やさしい腎移植』を普及させる」ことをミッションの一つとしました。専門分野にとらわれず、広い視野を持った認定医・専門医を育てていこうというのが我々の願いでした。以前の教育セミナーや HP で触れたように、冬の総会併設時の教育セミナーと集中プログラムは現地開催のみ、夏の日曜日夜に行う集中プログラムは Web 参加のみ、オンデマンド配信は予算と機器の関係から実施しないという方針にしております。

### 「集中教育セミナー」の名称変更につきまして

従来、冬の総会開催時、夏のオンライン時の本セミナーの名称は「集中教育セミナ

一」としておりましたが、腎移植専門医の新規申請、更新申請のときの単位カウントで、他の学会・研究会併設時の「教育セミナー」と混同される方が多いという意見を受けて、専門医認定委員会と学術教育委員会で名称変更を検討しました。その結果、「集中プログラム」と変更することを提案し承認されました。本年8月の第27回セミナーは、「第27回集中プログラム」、来年2月の第58回総会時の3コマ集中セミナーは「第28回集中プログラム」と呼び、HPのセミナー開催表も変更いたします。総会の第2日目の早朝に開催される教育セミナーは参加者の労をねぎらう意味を込めて1コマ2単位分の荷重がつけてありますので、専門医申請の際などご注意ください。

### 「第27回集中プログラム」につきまして

次回の第27回集中プログラムは、2024年8月4日（日）18:00-20:10、完全Web形式で開催する予定です。詳細が決定したら、日本臨床腎移植学会事務局のホームページで広告し参加募集をいたします。

### 2024-6-17 日本臨床腎移植学会 学術・教育委員会メンバー

杉谷 篤 同愛会・博愛病院 腎臓外科  
牛込秀隆 和東町国民健康診療所  
岩本 聖 東京医科大 外科  
乾 政志 東京女子医大 泌尿器科  
佐々木秀郎 聖マリアンナ医大 泌尿器科  
市丸直嗣 住友病院 泌尿器科  
谷澤雅彦 聖マリアン医大 腎臓内科  
三浦健一郎 東京女子医大 腎臓小児科  
岡部安博 九州大学大学院 臨床・腫瘍外科

### 最近の教育セミナー開催表抜粋

2024年の教育セミナーの開催学会とテーマ、認定単位を抜粋しておきます。

（別紙 Exel ファイルで添付します。2024-6-14 現在の教育セミナー表を見てください）